



1. 第10回市民検討会の概要

2. 市民アンケート調査結果

3. 相模原市行財政構造改革プラン

4. 今後の進め方に関する意見聴取について

- これまでの市民検討会の振り返り（第1回・第7回）
- 有識者協議会委員からの講評（第10回）
- 令和3年度の進め方



1. 第10回市民検討会の概要

【第10回市民検討会】 R3.1.29~3.10

会議録（暫定版・抜粋）

- 委員から提出された意見をまとめ、公共施設や機能の配置の組合せで類型化した4つの検討パターンごとに、それぞれの特徴となるセールスポイントや課題等について、書面によるやり取りを重ねながら整理した。
- まとめや整理に当たっては、ファシリテーターの意見を踏まえながら、有識者協議会委員にも随時資料を送付し、内容を確認いただき、最後に講評をいただいた。
- 各グループの総括的な意見のまとめが一定程度できたことから、第10回市民検討会を閉会

<出席委員の内訳>

現在地維持パターン	5人
鹿沼公園中心パターン	14人
図書館敷地中心パターン	2人
公民館敷地中心パターン	2人

- 第10回までの内容を基に市民アンケートを実施し、次回以降の市民検討会の議論に活用する。

<市民検討会の委員任期>

新型コロナウイルス感染症の影響により市民検討会を開催できない期間があったことから、R3.3.1まで ⇒ R3.12.31までに変更

市民検討会 まちづくりのアイデア
＜現在地維持パターン＞

アイデアのポイント

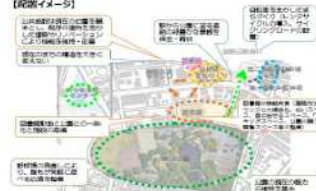
- 公共施設は、現在の位置を基本とし、既存の建物を増築やリノベーション又は建替えにより、機能の維持・改善を行う。
- 鹿沼公園は、現在の魅力の維持を基本とするが、図書館との一体的な利用や野球場を用途転換し、誰でも気軽に遊べる広場や防災施設を新たに整備する。
- まちは、現在の構造を大きく変えず、駅前から公園に至る道路の緑豊かな景観の保全・育成や自転車を活かしたまちづくりをする。

セールスポイント
どうして? Why・誰が喜ぶ? Who

- 現在の環境(施設・公園・まち)を維持・改善すること、駅から近いことによる利便性の維持ができ、地域住民・公共施設利用者が喜ぶ
- 災害・感染症のリスク分散ができ、地域住民・公共施設利用者が喜ぶ
- 公園内に一年を通して誰もが遊べる施設や、子育て世代の憩い・交流の場を創設すると、誰でも気軽に遊べ、公園利用者・子育て世代が喜ぶ
- 特色・魅力ある駅前から公園へのつながり、まちと公園の一体感による魅力をアップすると、地域住民・公園利用者、駅利用者、来訪者が喜ぶ

課題

- 財源(増築・リノベーション・建替え費、仮設建築・撤去費など)の確保
- 老朽化対策として増築・リノベーションが適切か(耐用年数を考慮)
- 増築・リノベーションでは部屋の形などが限られるため、ニーズの不整合を解決できるか
- 公園が抱えている課題(老朽化、安全対策)の解決と整備費の確保
- 世の中が変化する中で、現在のまちの環境を現在のまま維持する困難さ



市民検討会 まちづくりのアイデア
＜図書館敷地中心パターン＞

アイデアのポイント

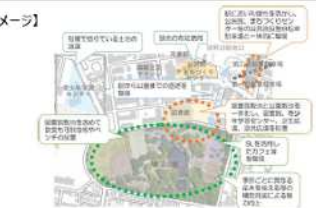
- 図書館敷地と公園駐車敷地を一体的に活用し、公共施設を複合化により再整備する(一部の公共施設は駅前の駐輪場と合わせて再整備)
- 公園施設の機能充実を図るとともに、公園内に雨、風、暑さをしのげるような休憩場所(カフェ等)や密が避けられる屋外には机やベンチを整備する
- 駅から公園までの道を整備し、公園の入口を真正面に変更する
- 公共施設の跡地を有効活用する

セールスポイント
どうして? Why・誰が喜ぶ? Who

- 公園と図書館用地的有効活用が可能となり、複合施設利用者同士だけでなく、公園利用者を含めた交流が広がる
- 行政の窓口サービスを利用する人が、駅に近い場所でサービスを受けることができる
- 道野辺駅南口の玄関口としてふさわしい空間ができ、まちのぎわい創出につながり、地域住民が喜ぶ
- 施設整備の財源を確保でき、事業の実現可能性が高まり、次世代に過度な負担を残さない形で引き継ぐことができる

課題

- 図書館敷地や駅前駐輪場を活用するため、仮設施設の建設が必要になる可能性
- 財源確保(複合施設の建設、公園リニューアル、駅から公園までの道の整備)
- カフェ等の事業採算性(事業者の確保)
- 公共施設跡地利用のされ方



市民検討会 まちづくりのアイデア
＜鹿沼公園中心パターン＞

アイデアのポイント

- 公共施設は、鹿沼公園を中心に集約・複合化することで、公園や各施設を一体的に活用するとともに、管理の効率化を図る。
- 鹿沼公園は、現在の魅力を活かしつつ、公共施設整備に合わせて一体的な再整備を実施する。
- 駅から公園までの路線のバリアフリー化や交通動線の整理等を実施し、鹿沼公園を中心としたまちづくりを行う。また、公共施設の跡地は、売却等による事業費の削減を図るほか、駐輪場や駐車場としての活用を検討する。

セールスポイント
どうして? Why・誰が喜ぶ? Who

- 様々な施設が集約・複合化されることにより、特に複合施設の利用者の利便性が向上するほか、維持管理費を削減できる
- カフェ等の施設を併設しにぎわいを創出することで、施設・公園利用者が喜ぶ
- 仮設の公共施設を設置することなくサービスの継続が可能となるため、既存の施設利用者が喜ぶ
- 公共施設の跡地を売却することにより事業費が削減できるほか、まちのぎわいを創出できるため、地域住民が喜ぶ
- 若者化している公園施設(遊具や遊路)も併せてリニューアルすることができるため、遊具等の公園施設利用者や高齢の利用者が喜ぶ

課題

- 既存の公園の良さを残せるような再整備をする必要がある
- 時代に見合った新しい施設を設置する場合、財源をどのように確保するのかにぎわい施設の採算が取れるか
- 公共施設跡地利用のされ方



市民検討会 まちづくりのアイデア
＜公民館敷地中心パターン＞

アイデアのポイント

- 公共施設は大野北公民館敷地に集約・複合化し、駅から近いことによる利便性を維持する。
- 鹿沼公園は、野球場を多機能スポーツ広場に復元し公園利用者層の拡充を図る。
- まちは、駅から公園までの道の景観を統一することにより、憩いの場所を増やしつつ公園利用者層の拡充を図る。

セールスポイント
どうして? Why・誰が喜ぶ? Who

- 駅近施設の利便性を維持すると公共施設利用者(特に高齢者層)が喜ぶ。
- 多機能スポーツ広場にすると野球以外の多くのスポーツ愛好者、地域住民が喜ぶ。
- 憩いの場所が増えたと地域住民、駅利用者、公園利用者が喜び、公園まで行ってみたいくなる者が増える。
- 図書館敷地を駐車場として整備することで、非常時の防災拠点や次の建て替え時の代替用地として確保できる

課題

- 公民館を建て替える際の代替地確保が必要
- 財源(建設費、仮設建築・撤去費等)の確保
- 公園が抱えている課題(老朽化、安全対策)の解決
- 駐車場から複合施設までの距離が長くなる(障がい者用駐車場は施設敷地内に確保)



2. 市民アンケート調査結果



【市民アンケート調査の実施】 R3.3.12～3.21

各検討パターンのセールスポイントや課題が、市民の方にどのように受け取られるのか、広く意見を伺い、その結果を今後の市民検討会における議論に活用することを目的として実施

項目	調査手法①	調査手法②
調査方法	インターネット調査 (相模原市アンケート調査用ホームページのURL及びQRコードを記載したはがきを送り、同ホームページより回答) ※希望者には紙のアンケート調査票を送付し回収	モニター調査 (ウェブ調査会社のアンケート画面より回答)
対象者	淵野辺駅を中心に概ね 1 km圏内の在住者 (年代別に4,500人を無作為抽出)	淵野辺駅利用者 (ウェブ調査会社保有のアンケートモニター) ※調査手法①の対象範囲以外の相模原市内全域及び近隣市
回答数	760人 (回答率16.9%)	426人

回答結果の傾向

- インターネット調査では、どの検討パターンも回答者の5割以上から共感を得られた。
- モニター調査も概ね同様の傾向だったが、「当てはまるものはない」、「どちらとも言えない」と回答する割合が比較的高かった。
- 課題として、どの検討パターンも財政的なことをあげる意見が多く見られた。

2. 市民アンケート調査結果



(1) 各検討パターンのセールスポイントで最も共感できるもの

問7 現所在地維持パターン

インターネット調査

モニター調査

現在の環境（施設・公園・まち）を維持・改善すると、駅から近いことによる利便性の維持ができ、地域住民・公共施設利用者が喜ぶ	289	38.0%	135	31.7%
災害・感染症のリスク分散ができ、地域住民・公共施設利用者が喜ぶ	73	9.6%	47	11.0%
公園内に一年を通して誰もが遊べる施設や、子育て世代の憩いと交流の場を創設すると、誰でも気軽に遊べ、公園利用者・子育て世代が喜ぶ	188	24.7%	72	16.9%
特色・魅力ある駅前から公園へのつながり、まちと公園の一体感による魅力をアップすると、地域住民・公園利用者・駅利用者・来訪者が喜ぶ	123	16.2%	55	12.9%
当てはまるものはない	80	10.5%	117	27.5%
未選択	7	0.9%	0	0%
	760人	100%	426人	100%

問10 鹿沼公園中心パターン

インターネット調査

モニター調査

様々な施設が集約・複合化されることにより、特に複数施設の利用者の利便性が向上するほか、維持管理費を縮減できる	236	31.1%	124	29.1%
カフェ等の施設を併設しにぎわいを創出することで、施設・公園利用者が喜ぶ	152	20.0%	67	15.7%
仮設の公共施設を設置することなくサービスの継続が可能なため、既存の施設利用者が喜ぶ	40	5.3%	22	5.2%
公共施設の跡地を売却することにより事業費が縮減できるほか、まちのにぎわいを創出できるため、地域住民が喜ぶ	75	9.9%	41	9.6%
老朽化している公園施設（遊具や園路）も併せてリニューアルすることができるため、遊具等の公園施設利用者や高齢の利用者が喜ぶ	104	13.7%	57	13.4%
当てはまるものはない	145	19.1%	115	27.0%
未選択	8	1.1%	0	0%
	760人	100.0%	426人	100%

2. 市民アンケート調査結果



(1) 各検討パターンのセールスポイントで最も共感できるもの

問13 図書館敷地中心パターン

インターネット調査

モニター調査

公園と図書館用地の有効活用が可能となり、複合施設利用者同士だけでなく、公園利用者を含めた交流が広がる	210	27.6%	119	27.9%
行政の窓口サービスを利用する人が、駅に近い場所でサービスを受けることができる	145	19.1%	76	17.8%
淵野辺駅南口の玄関口としてふさわしい空間ができ、まちのにぎわい創出につながり、地域住民が喜ぶ	172	22.6%	62	14.6%
施設整備の財源を確保でき、事業の実現可能性が高まり、次世代に過度な負担を残さない形で引き継ぐことができる	108	14.2%	49	11.5%
当てはまるものはない	116	15.3%	120	28.2%
未選択	9	1.2%	0	0%
	760人	100%	426人	100%

問16 公民館敷地中心パターン

インターネット調査

モニター調査

駅近施設の利便性を維持すると公共施設利用者（特に高齢者層）が喜ぶ。	246	32.4%	94	22.1%
多機能スポーツ広場にすると野球以外の多くのスポーツ愛好者、地域住民が喜ぶ。	110	14.5%	54	12.7%
憩いの場所が増えると地域住民、駅利用者、公園利用者が喜び、公園まで行ってみたくなる者が増える。	155	20.4%	81	19.0%
図書館跡地を駐車場として整備することで、非常時の防災拠点や次の建て替え時の代替地として確保できる。	103	13.6%	61	14.3%
当てはまるものはない	134	17.6%	136	31.9%
未選択	12	1.6%	0	0%
	760人	100%	426人	100%

2. 市民アンケート調査結果



(2) 各検討パターンの課題で最も重視するもの

問8 現在地維持パターン

	インターネット調査		モニター調査	
	人数	割合	人数	割合
財源（増築・リノベーション・建替え費、仮設建築・撤去費など）の確保	249	32.8%	90	21.1%
老朽化対策として増築・リノベーションが適切か（耐用年数を考慮）	151	19.9%	69	16.2%
増築・リノベーションでは部屋の形などが限られるため、ニーズの不整合を解決できるか	85	11.2%	33	7.7%
公園が抱えている課題（老朽化、安全対策）の解決と整備費の確保	122	16.1%	75	17.6%
世の中が変化する中で、現在のまちの環境を現在のまま維持する困難さ	89	11.7%	46	10.8%
当てはまるものはない	56	7.4%	113	26.5%
無回答	8	1.1%	0	0%
	760人	100%	426人	100%

問11 鹿沼公園中心パターン

	インターネット調査		モニター調査	
	人数	割合	人数	割合
既存の公園の良さを残せるような再整備をする必要がある	338	44.5%	113	26.5%
時代に見合った新しい施設を設置する場合、財源をどのように確保するのか	190	25.0%	100	23.5%
にぎわい施設の採算が取れるか	56	7.4%	57	13.4%
公共施設跡地利用のされ方	116	15.3%	46	10.8%
当てはまるものはない	51	6.7%	110	25.8%
無回答	9	1.2%	0	0%
	760人	100%	426人	100%

2. 市民アンケート調査結果



(2) 各検討パターンの課題で最も重視するもの

問14 図書館敷地中心パターン

	インターネット調査		モニター調査	
	人数	割合	人数	割合
図書館敷地や駅前駐輪場を活用するため、仮設施設の建設が必要になる可能性	167	22.0%	86	20.2%
財源確保（複合施設の建設、公園リニューアル、駅から公園までの道の整備）	282	37.1%	119	27.9%
カフェ等の事業採算性（事業者の確保）	89	11.7%	41	9.6%
公共施設跡地利用のされ方	139	18.3%	55	12.9%
当てはまるものはない	72	9.5%	125	29.3%
無回答	11	1.4%	0	0%
	760人	100%	426人	100%

問17 公民館敷地中心パターン

	インターネット調査		モニター調査	
	人数	割合	人数	割合
公民館を建て替える際の代替地確保が必要	137	18.0%	61	14.3%
財源（建替費、仮設建築・撤去費等）の確保	265	34.9%	115	27.0%
公園が抱えている課題（老朽化、安全対策）の解決	137	18.0%	64	15.0%
駐車場から複合施設までの距離が長くなる（障がい者用駐車場は施設敷地内に確保）	119	15.7%	61	14.3%
当てはまるものはない	92	12.1%	125	29.3%
無回答	10	1.3%	0	0%
	760人	100%	426人	100%

2. 市民アンケート調査結果



(3) 各検討パターンの共感度

問9 現在地維持パターン

	インターネット調査		モニター調査	
	人数	割合	人数	割合
共感できる	198	26.1%	45	10.6%
どちらかと言うと共感できる	302	39.7%	182	42.7%
どちらかと言うと共感できない	106	13.9%	57	13.4%
共感できない	94	12.4%	15	3.5%
どちらとも言えない	53	7.0%	127	29.8%
無回答	7	0.9%	0	0%
	760人	100%	426人	100%

【インターネット調査】

- 共感できる、どちらかと言うと共感できる ⇒ 500(65.8%)
- どちらかと言うと共感できない、共感できない ⇒ 200(26.3%)

【モニター調査】

- 共感できる、どちらかと言うと共感できる ⇒ 227(53.3%)
- どちらかと言うと共感できない、共感できない ⇒ 72(16.9%)

問12 鹿沼公園中心パターン

	インターネット調査		モニター調査	
	人数	割合	人数	割合
共感できる	157	20.7%	43	10.1%
どちらかと言うと共感できる	264	34.7%	189	44.4%
どちらかと言うと共感できない	111	14.6%	43	10.1%
共感できない	164	21.6%	21	4.9%
どちらとも言えない	54	7.1%	130	30.5%
無回答	10	1.3%	0	0%
	760人	100%	426人	100%

【インターネット調査】

- 共感できる、どちらかと言うと共感できる ⇒ 421(55.4%)
- どちらかと言うと共感できない、共感できない ⇒ 275(36.2%)

【モニター調査】

- 共感できる、どちらかと言うと共感できる ⇒ 232(54.5%)
- どちらかと言うと共感できない、共感できない ⇒ 64(15.0%)

2. 市民アンケート調査結果



(3) 各検討パターンの共感度

問15 図書館敷地中心パターン

インターネット調査

モニター調査

共感できる	158	20.8%	46	10.8%
どちらかと言うと共感できる	305	40.1%	164	38.5%
どちらかと言うと共感できない	126	16.6%	57	13.4%
共感できない	95	12.5%	15	3.5%
どちらとも言えない	65	8.6%	144	33.8%
無回答	11	1.4%	0	0%
	760人	100%	426人	100%

【インターネット調査】

- 共感できる、どちらかと言うと共感できる ⇒ 463(60.9%)
- どちらかと言うと共感できない、共感できない ⇒ 221(29.1%)

【モニター調査】

- 共感できる、どちらかと言うと共感できる ⇒ 210(49.3%)
- どちらかと言うと共感できない、共感できない ⇒ 72(16.9%)

問18 公民館敷地中心パターン

インターネット調査

モニター調査

共感できる	110	14.5%	31	7.3%
どちらかと言うと共感できる	270	35.5%	139	32.6%
どちらかと言うと共感できない	170	22.4%	74	17.3%
共感できない	125	16.4%	42	9.9%
どちらとも言えない	77	10.1%	140	32.9%
無回答	8	1.1%	0	0%
	760人	100%	426人	100%

【インターネット調査】

- 共感できる、どちらかと言うと共感できる ⇒ 380(50.0%)
- どちらかと言うと共感できない、共感できない ⇒ 295(38.8%)

【モニター調査】

- 共感できる、どちらかと言うと共感できる ⇒ 170(39.9%)
- どちらかと言うと共感できない、共感できない ⇒ 116(27.2%)

(4) 自由意見

インターネット調査では268人から373件の意見をいただき、モニター調査では72人から74件の意見をいただいた。

分類	インターネット調査		モニター調査	
	件数	構成比	件数	構成比
①本事業や計画全般に関する意見（事業スキームや財源など含む）	70	18.8%	30	40.5%
②公共施設全般に関する意見（特定の公共施設に言及していない意見）	63	16.9%	21	28.4%
③鹿沼公園に関する意見	114	30.6%	8	10.8%
④市立図書館に関する意見	29	7.8%	4	5.4%
⑤大野北公民館に関する意見	11	2.9%	2	2.7%
⑥あさひ児童館に関する意見	2	0.5%	0	0%
⑦青少年学習センターに関する意見	4	1.1%	0	0%
⑧さがみはら国際交流ラウンジに関する意見	2	0.5%	0	0%
⑨大野北まちづくりセンターに関する意見	2	0.5%	0	0%
⑩自動車駐車場に関する意見	9	2.4%	1	1.4%
⑪自転車駐車場に関する意見	14	3.8%	1	1.4%
⑫駅と公園の繋がりに関する意見	5	1.3%	0	0%
⑬周辺の交通環境に関する意見（駅前広場に関する意見を含む）	24	6.4%	1	1.4%
⑭アンケート調査の内容や方法に関する意見	13	3.5%	0	0%
⑮その他	11	2.9%	6	8.1%
	373件	100%	74件	100%

比較的意見が多かった、①～③の概要は次のページに記載
（各意見の内容は、別紙参照）

(4) 自由意見 《主な意見の要旨》

① 本事業や計画全般に関する意見（事業スキームや財源など含む）

各施設の良さが生かされたまちになってほしいです。

私は高校生ですが南口周辺に放課後に立ち寄れるような場所があればいいのになとよく思います。

安易に跡地を売却して財源に当てたりするのではなく、将来的に人口が増加するような魅力的な整備を行ってほしい。

コロナ対応で、市の財源もかなり厳しくなっているので、跡地の有効活用を前提に推進すべき。

資金と利便性のバランスを取って、何らかの形で施設を集約することを望みます。

② 公共施設全般に関する意見（特定の公共施設に言及していない意見）

多世代交流や地域で暮らす多様な人と出会いの機会を生み出す仕掛けのある空間とデザインを工夫して欲しい。

公共施設や公園を一体化して整備することで、寂しい印象の淵野辺駅前に活気が出てくると思う。

公園などの他に建物の中にちょっとしたフードコートや、憩いの場、座って話せる場所、飲食できる場所などがあると、学生たちはとても喜ぶと思います。

中学生が気軽に集える場所を作って欲しい。

現状の配置でもあまり不便は感じていません。管理維持費削減のために各施設を集約することは良いと思います。

(4) 自由意見 《主な意見の要旨》

③ 鹿沼公園に関する意見

施設が集約することで公園利用者も増えると思うが、昔から馴染みのある今の姿が大幅に変わってしまうのは少し残念を感じる。

災害時の避難場所として公園広場は絶対必要なので、公園内に余計な大きな施設を作るのは反対です。

鹿沼公園は、ゆったりお散歩できたりすることがとても魅力的なので、多機能スポーツ広場は、必要ないと思う。

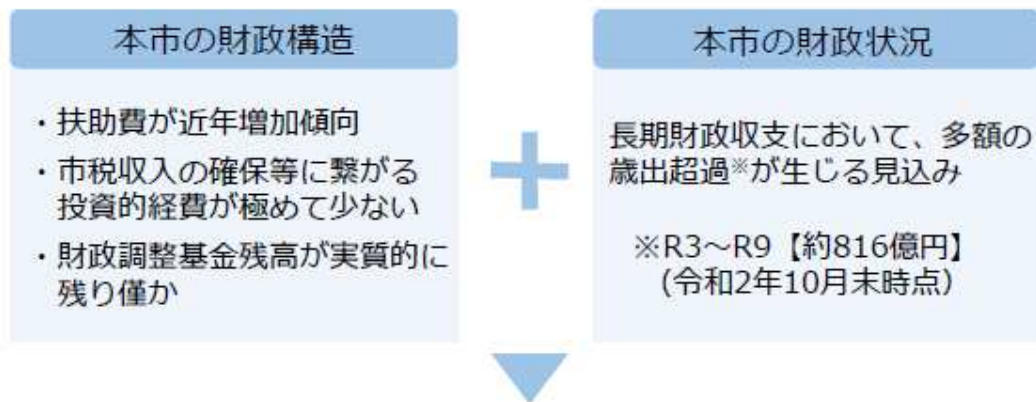
鹿沼公園内の野球場を多機能スポーツ広場にする案に賛成する。

図書館とカフェを公園内でも近い位置に設置してくれば、本を借りてそのままカフェで読書や勉強ができるので、それが理想です。



【行財政構造改革プランの策定】 R3.4策定

1. 緊急に行財政構造改革を推進すべき必要性



いずれは真に必要な行政サービスの提供すら困難となる恐れ

計画期間と取組内容

計画期間：令和3年度から令和9年度末まで

第1期：令和3年度から令和5年度まで

- ・ 新たなまちづくり事業等の選択と集中
- ・ **既存の公共施設等の見直し**
- ・ 実施可能な改革項目の先行着手
- ・ 政策決定プロセスの見直し、職員の意識改革、働き方改革等
- ・ 「第2期」から実施する抜本的な改革内容の検討・意思決定

2. 行財政構造改革の基本的な考え方

財政健全化の目標

- ・ 歳出超過の解消
- ・ 持続可能な財政運営の確立
- ・ 経常収支比率の改善

職員の意識改革

「想定をはるかに超える大きな変化」に耐え得る、しなやかで強靱な組織を構築

行財政構造改革の視点

- ・ 収支均衡型の財政運営
- ・ 選択と集中と決定
- ・ 市民のくらしの安全・安心の確保
- ・ 「本市が特に重点的に力を入れる分野」等の設定

第2期：令和6年度から令和9年度まで

- ・ 「第1期」中に検討・意思決定を行った抜本的な改革内容を実施
- ・ 令和10年度以降の取組継続の要否について判断



計画期間中における見直し項目

- 計画期間中に総事業費20億円以上の改修・更新を予定している事業・施設の改修・更新費用の削減又は財源確保策の検討
- 社会的ニーズの変化、代替性、公平性、機能重複、利用状況、老朽化の状況等を勘案し、サービス提供を継続する必要性や効果が低い施設の集約（統合）、譲渡又は廃止
- 少子化や地域特性を踏まえた、保育所等・幼稚園、小学校の施設規模や配置適正化に向けた取組の推進
- 有償で土地又は建物を賃借している施設の返却と代替方策の検討
- 公民館等のコミュニティ施設の在り方及び適正配置の検討

見直し項目の対象となる施設については、**施設の方向性が明確になるまでの間は、大規模な施設の改修等を行わない。**

その間に改修等が必要となった場合は、サービス提供の継続が必要な施設については**最小限の修繕**を行い、それ以外の施設は休館等による対応を行う。

淵野辺駅南口周辺まちづくり事業の位置づけ

見直し対象施設の方向性として、「方向性：見直し／手法：廃止」としている施設もある中で、淵野辺駅南口周辺まちづくり事業に関しては、「方向性：維持」であり、**民間活力やストック資産の活用（売却・貸付け等）**などにより改修・更新費用を確保しつつ、**市民検討会の検討結果を踏まえ、市として実現可能な取組を進めていくべき事業と位置づけられている。**

3. 相模原市行財政構造改革プラン



(参考) 見直し対象施設の方向性と手法

	対象施設	方向性	手法
改革プランの期間に総事業費 20億円以上の改修・更新を 予定している事業・施設の改修・ 更新コストの削減又は財源確保 策の検討	淵野辺駅南口周辺まちづくり事業	維持	複合化
	療育センター再整備事業	維持	複合化
	津久井総合事務所周辺公共施設再整備事業	維持	複合化
	相模湖総合事務所	要検討	あり方検討
	藤野総合事務所	要検討	あり方検討
	アイススケート場・プール（銀河アリーナ）	見直し	廃止
	総合体育館	維持	民間活力の活用
	相模原球場	維持	民間活力の活用
	総合水泳場	維持	民間活力の活用
	北市民健康文化センター	維持	民間活力の活用
	南市民ホール（南区合同庁舎との複合施設）	見直し	集約化
	文化会館（相模大野図書館・南メディカルセンター急病診療所との複合施設）	維持	民間活力の活用
	総合保健医療センター	維持	改修内容の見直し
	南保健福祉センター	維持	改修内容の見直し
社会的ニーズの変化、代替性、 公平性、機能重複、利用状 況、老朽化の状況等を勘案し、 サービス提供を継続する必要性 や効果が低い施設の集約（統 合）、譲渡又は廃止	あじさい会館	維持	改修内容の見直し
	連絡所（相原・光が丘・大沼・大野台・上鶴間）	見直し	廃止
	パスポートセンター（橋本・相模大野）	見直し	集約化
	普通財産として地域に賃貸している集会施設（25施設）	見直し	地域へ譲渡
	図書館相武台分館	見直し	廃止
	市体育館	見直し	廃止
	牧郷体育館	見直し	地域へ譲渡又は廃止
	津久井地域福祉センター	見直し	廃止
	南大野老人いこいの家	見直し	廃止
	城山障害者デイサービスセンターつくしの家	見直し	民間へ移管又は廃止
	津久井障害者地域活動支援センター	見直し	民間へ移管又は廃止
	デイサービスセンター（清新・星が丘・古淵）	見直し	民間へ移管又は廃止
	児童館（1小学校区に複数ある児童館9館）	見直し	地域への譲渡又は廃止
串川診療所（閉院中）	見直し	廃止	
少子化や地域特性を踏まえた、 保育所等・幼稚園や小学校の 適正化に向けた取組の推進	小学校（過小規模校のある地区）	見直し	集約化（統廃合）
	保育所等・幼稚園（園児数等が極端に少ない施設、災害危険性のある施設が存在する地区）	見直し	集約化（統廃合）
有償で土地又は建物を賃借して いる施設の返却と代替方策の検 討	あじさい住宅等（14施設）	見直し	廃止
	青少年学習センター	維持	複合化
	さがみはら国際交流ラウンジ	維持	複合化
公民館等のコミュニティ施設の在 り方及び適正配置の検討	市民活動に利用されている施設（公民館、津久井生涯学習センター、地域センター、藤野農村環境改善センター、老人福祉センター、ふれあいセンター、さがみ湖リフレッシュセンター、こどもセンター、児童館等）	要検討	あり方検討



(1) 取組内容

◆ 計画期間中に総事業費20億円以上の改修・更新を予定している事業・施設の改修・更新費用の削減又は財源確保策の検討

対象施設	方向性/手法/取組内容	
	第1期(R3~R5)	第2期(R6~R9)
淵野辺駅南口周辺まちづくり事業	<p>【方向性：維持／手法：複合化】 淵野辺駅南口周辺の公共施設の再編・再整備について、民間活力やストック資産の有効活用（売却・貸付け等）などにより、改修・更新費用を確保しつつ、市民検討会の検討結果を踏まえた取組を実施します。</p> <p>（検討対象候補施設） 市立図書館、大野北まちづくりセンター、大野北公民館、あさひ児童館、青少年学習センター、さがみはら国際交流ラウンジ、鹿沼公園、淵野辺駅南口第1・第2自転車駐車場 ほか</p>	

◆ 有償で土地又は建物を賃借している施設の返却と代替方策の検討

対象施設	方向性/手法/取組内容	
	第1期(R3~R5)	第2期(R6~R9)
青少年学習センター さがみはら国際交流ラウンジ	<p>【方向性：維持／手法：複合化】 有償で借りている現在の場所から移転し、連携により効果が見込まれる施設に集約・複合化することを基本に、淵野辺駅南口周辺まちづくり事業における市民検討会の検討結果を踏まえた取組を実施します。</p>	

3. 相模原市行財政構造改革プラン

(2) 見直し効果額 (見直し効果額は、「見込んでいる効果」の記載内容をもとに計算しており、確定したものではない)

淵野辺駅南口周辺まちづくり事業

総事業費	改革プランの期間		年間管理運営費	見直し効果額	見込んでいる効果
	事業費	うち一般財源			
45.9億円	45.9億円	3.6億円	3.8億円	10.5億円	<ul style="list-style-type: none"> ● 集約・複合化により発生した土地の売却・貸付け等による収入 (公民館敷地相当の売却益) ● 複合化により管理運営費用の10%を削減 (2年分)

○見直し効果額の内訳 (補足)

- ・集約・複合化により発生した土地の売却・貸付け等による収入 ⇒ 約9.7億円
(公民館敷地3,605㎡相当の売却益 (実勢想定価格270千円/㎡) と仮定)
- ・複合化による施設共用部の統合により、年間管理運営費用の削減効果 ⇒ 約0.76億円
(現在の延床面積を10%削減することにより、年間管理運営費3.8億円の10%を2年分削減できると仮定)

青少年学習センター、さがみはら国際交流ラウンジ

対象施設	総事業費	改革プランの期間		年間管理運営費	見直し効果額	見込んでいる効果
		事業費	うち一般財源			
青少年学習センター	—	—	—	0.3億円	0.2億円	● 令和8年度以降の賃借料100%及びその他の経費の10%を削減
さがみはら国際交流ラウンジ	—	—	—	0.2億円	0.2億円	● 令和8年度以降の賃借料100%及びその他の経費の10%を削減

(3) 市の考え方（パブリックコメントでお答えした主な内容）

- 本市における多くの公共施設の老朽化が進み、今後、多額の改修・更新費用が必要となる一方、財政状況は一層の厳しさを増す中においては、**全ての施設を現状のまま維持し続けることは困難な状況**です。
- そうした状況に対して、本市では、「公共施設の保全・利活用基本指針」において公共施設マネジメントの基本方針、「公共施設マネジメント推進プラン」において施設分類ごとの施設配置の基本的な考え方及び22地区の施設配置の方向性を定め、**公共施設マネジメントの取組を進めてまいりました**。
- 厳しい財政状況の中だからこそ、**施設の老朽化の課題を先送りすることなく**、各施設の利用状況、地域特性、老朽化の状況等を踏まえながら、**集約化や複合化、民間活力の活用、ストック資産の有効活用などによる見直しを着実に進めていく必要がある**と考えております。
- **本事業を推進する上では、これまでの公共施設マネジメントの考え方に基づき、民間活力やストック資産の有効活用（売却・貸付け等）などにより、改修・更新費用を確保しつつ、取組を実施する必要があるため、改めて、方向性として「維持」、手法を「複合化」としております**。
- また、別紙に記載している効果額の見込み方については、試算の前提条件であり、確定したものではございません。
- **本事業の具体的な取組内容については、現在、淵野辺駅南口周辺のまちを次世代に引き継ぐために、市民検討会が実施されており、その検討結果を踏まえた上で、市として実現可能な取組を実施してまいりたい**と考えております。

3. 相模原市行財政構造改革プラン

(参考) 本市における公共施設マネジメントの推進に関する経過

1 H24.3 相模原市公共施設白書

現状の施設を全て保有し続けた場合、更新のピーク時に6割程度しか適切な改修・更新の対応ができないと想定している。

2 H25.10 公共施設の保全・利活用基本指針

こうした状況を踏まえ、将来にわたり真に必要な公共サービスを提供していくため、サービス提供の適正化やサービス提供に利用する施設（建物）の適正化、また、未利用資産の活用などの7つの基本方針を定め、将来コストの削減方策として、改修パターンの変更や民間活力の活用によるコスト削減と合わせて、今後30年間で延床面積20%の削減目標を設定している。

3 H29.3 相模原市公共施設マネジメント推進プラン

延床面積20%の削減目標の達成に向けて、施設分類ごとの施設配置の基本的な考え方及び2地区の施設配置の方向性を示しており、大野北地区では、規模の大きい施設については、大規模改修の段階においても、周辺施設と複合化に向けて検討することとしている。

また、図書館は、周辺施設との複合化により効果的な相乗効果が期待できることから、更新の際には、生涯学習や交流のための施設、地域施設等の核として、複合化や多機能化を検討することとしている。

4 R2.3 相模原市一般公共建築物長寿命化計画

建築後40年以上経過した建築物で、大規模改修工事が行われていない施設については、長寿命化改修工事を前提とせず、他施設との複合化などによる積極的な再編・再整備を検討し、施設総量の削減を図るとともに、集約化等により発生した未利用の土地や建物を有効活用し、さらなる財源の確保を目指すこととしている。

これまでの
市民検討会でも
説明

(第1回、第4回、
第7回)



【第1回市民検討会】 H31.3.2

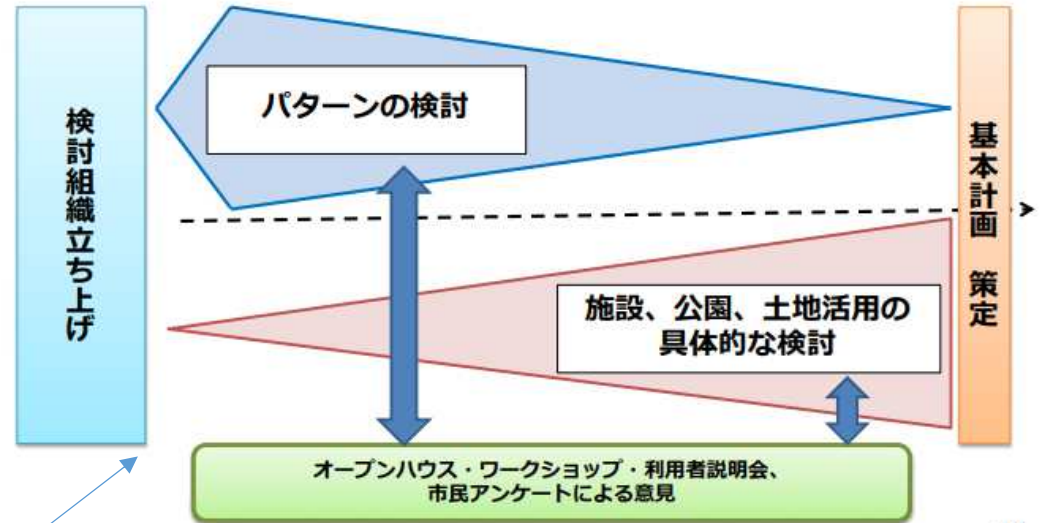
意見反映② 複数の検討パターンについて

- 事業手法の検討に当たっては、淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画（案）でお示した事業手法以外にも、**複数のパターンについて、**利用者の利便性向上、財政負担などの視点から検証し、**最も効果的な事業手法パターンを検討していきます。**
- 鹿沼公園全体のリニューアルの検討に当たっては、鹿沼公園のエリアごとの利用実態や児童交通公園、運動施設等の施設の利用状況から、施設配置と合わせて、**様々な公園レイアウトのパターンについて検証し、鹿沼公園のさらなる魅力向上に向けて検討していきます。**

今後の進め方のイメージ

今後は、検討組織により、**複数のパターンを検討しながら、施設、公園、土地活用の具体的な検討を進めます。**

検討の進捗に応じて、ワークショップや説明会などで広く市民の皆様のご意見を頂きながら、基本計画策定に向けて取り組んでまいります。



13

14

(参考) 市民説明会での説明 (H31.1.19)

- 検討組織においては、地域の課題解決のための様々なパターン出しを行っていただく。
- そして、**パターンを絞込みながら、跡地の活用や、施設の部屋割り、公園のレイアウトなどの具体的な検討を進めていただき、基本計画を策定していきたいと考えている。**
- なお、ここで策定する基本計画は、**当初の計画案とは異なり、実施計画に近い内容になると考えている。**



【第7回市民検討会】 R1.11.9

今後の市民検討会の目標とスケジュール【たたき台】

今後の進め方のたたき台 (前回提示)

- ①今後の淵野辺のまちの方向性を確認
- ②実現性など淵野辺ですべきことの議論
- ③市が検討したパターンとその前提となった条件等を確認

今後の市民検討会の目標 (案)

鹿沼公園と公共施設を生かしてまちの魅力UP
(※これまでの議論とオープンハウス等で概ねの方向性を確認)

キャッチコピーもみんなで考えましょう

実現に向けた課題の整理

公園と施設の機能の組み合わせ 施設の配置パターン

開催時期	市民検討会の内容 (予定)	開催手法
第7回市民検討会 (令和元年11月9日)	1. これまでの市民検討会での課題の説明 2. 委員アンケートや第1回オープンハウス、第1回市民アンケートの結果の説明 3. 今年度の目標とスケジュールの説明 4. 次回のグループワークでの前提条件と平成29年度に検討したパターンの説明	意見交換
第8回市民検討会 (令和元年12月予定)	1. (仮)公園から見るまちづくりについて(有識者講演予定) 2. グループワークの実施 →みなさんのアイデアがどのようなパターンになるか考えてみましょう。	グループワーク
第9回市民検討会 (令和2年1月予定)	1. (仮)公共施設から見るまちづくりについて(有識者講演予定) 2. グループワークの実施 →アイデアの実現可能性や相乗効果について考えてみましょう。	グループワーク
<small>第2回オープンハウス及び第2回市民アンケートの実施 (第7回～第9回までの検討会の内容について)</small>		
第10回市民検討会 (令和2年2月予定)	1. 第2回オープンハウス、第2回市民アンケートの結果の説明 2. 今年度のまとめ 3. 令和2年度以降の市民検討会の進め方(案)の説明	意見交換

会議録 (抜粋)

- 今年度の目標案としては、例えば「鹿沼公園と公共施設を生かしてまちの魅力アップ」をテーマとし、まちの魅力の中心は鹿沼公園であり、公共施設がこれからの淵野辺のまちに大きなインパクトを与えるものだとすることを考えながら、それを生かしてまちの魅力をアップしていくにはどうすればいいのか考えていただきたい。
- **具体的には、公園と施設の機能の組み合わせ、施設の配置、そのパターン、実現に向けた課題も併せて整理する。そこまでを今年度3月(令和2年3月)までに実施していこうと考えている。**
- スケジュールとしては、第8回と第9回でグループワークを行い、第8回は押田先生、第9回は野口先生から講演をしていただく。検討パターンについて議論を深めて、実現可能性やまちづくりへの効果、課題について考えていきたい。
- **その後、第2回オープンハウスと第2回市民アンケートを行い、ここまでの成果を市民の皆さんに見ていただき、最後の第10回で今年度のまとめと来年度以降の市民検討会をどのように進めていくのかを議論して、今年度は締めたいと考えている。**

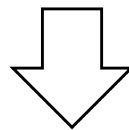
4. 今後の進め方に関する意見聴取について



【第10回市民検討会】 R3.1.29~3.10

有識者協議会委員からの講評（抜粋）

- 各検討パターンの基本的枠組み、セールスポイント、課題が整理でき、各検討パターンの特徴がはっきりしてきた。**今後は、実行可能性について、財政面からの検討**（整備費用だけでなく、維持管理・運営費用などのライフサイクルコストの試算）**を進めていく必要がある。**
- まちが変わらない＝維持することは容易ではない。**既存施設をそのままにすることは、リノベ、財源確保、都市計画制度との整合性など、課題は多くなる。**
- **図書館敷地中心パターンと鹿沼公園中心パターンの折衷案が一番現実的。**活用法（増築・リノベーション・新築再建）の選択肢を残したまま、次のステージに進めるのではないか。
- アイデアを出すこと、委員の考えを抽出するまでは、概ねできていると思われる。**現実味を加えるために、具体的にどれくらいの予算であれば何ができるか**の話を出した方が、「できること」、「できないこと」のイメージができるのではないか。
- これまでの議論を踏まえ、共通理解を得るにはもう少し議論の場と時間が必要ではないかと感じた。**これまでの議論の積み重ねを大切にしつつ、次の段階に進めることができたらと考える。**

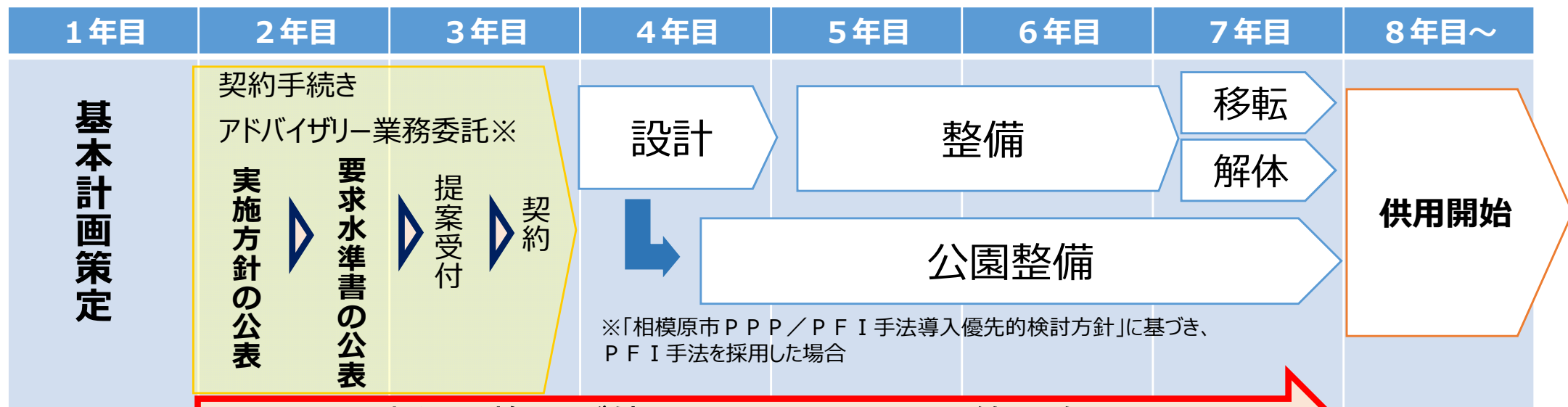


今後、どのように検討を進めていくべきか、
有識者協議会委員からいただいた意見を踏まえ
検討する必要がある。

4. 今後の進め方に関する意見聴取について



事業完了までに想定されるスケジュールの目安



新しい施設が使えるようになるまでに約6年※

※個別に建て替えとする場合は、個々の施設の更新のタイミングで検討をすることになる。財政負担の平準化を図る観点からも、同時期の実施は難しいため、結果的に全ての施設の更新を完了までに要する期間が長期化する可能性がある。

各施設の築年数

施設名	建設年度	築年数	築60年まで	備考
市立図書館 ※	1974	47年	あと13年	
大野北公民館 大野北まちづくりセンター ※	1977	44年	あと16年	
あさひ児童館	2013	8年	—	建物リース
青少年学習センター ※	1969	52年	あと8年	国有地賃貸
さがみはら国際交流ラウンジ		民間施設賃貸		
鹿沼公園	1973	(48年)	—	
淵野辺駅南口第1自転車駐車場	1979	42年	あと18年	
淵野辺駅南口第2自転車駐車場	1990	31年	あと29年	

※厳しい財政状況の下、主に不具合が発生してから、不具合箇所のみでの改修・更新を行う事後保全での対応が中心となっていた。

定期的に中規模改修工事等が必要だが、実施できていない。

4. 今後の進め方に関する意見聴取について



【今後の大まかな進め方】

第13回以降

パターンの検討

第11回 第12回

施設、公園、土地活用の具体的な検討（ワーキンググループ）

基本計画策定

最短6年間で供用開始

- 市民アンケート結果の報告
- 行財政構造改革プランの説明
- 第10回市民検討会までの振り返り
- 今後の進め方

今後の進め方について、協議・決定

<検討事項の例>

- 各パターンの想定事業費の比較など、実現可能性を踏まえた検討
- 施設内の機能配置
- 諸室の構成
- 公園内レイアウトパターン
- 鹿沼公園の整備範囲
- 各検討パターンで整理した課題の解決策の検討
- 駅から公園までの街並み
- 跡地活用

施設配置パターンの決定（市）

これまで検討を続けてきた現在のメンバーで、12月までに、どこまで検討しようかな。どのような形で引き継いだら、次の委員の人が議論しやすいか考えてみよう。



市民アンケートの結果や有識者の講評を見ると、課題として財源のことが挙げられているね。そろそろ、実現可能性の点も踏まえて、次のステップに進んでもいいのかな。

今後の進め方については、12月末までの検討内容、施設配置パターンの決定時期など、市民検討会委員の皆さんのご意見を伺った上で、改めて第12回市民検討会で協議し、決定します。

今後の進め方を考える際に留意していただきたいポイント

- 現在の市民検討会委員の任期が本年12月31日までである。
- 市民検討会は、12月までにあと4回程度開催と想定（第12回で進め方の検討を行うと、その後の検討は3回程度）。
- 公共施設の老朽化が進んでおり、再整備は喫緊の課題である。また、基本計画策定後、供用開始までには、6年程度かかる。
- 有識者協議会委員からの講評や市民アンケート結果を踏まえて考える必要がある。

4. 今後の進め方に関する意見聴取について



◆今後の進め方について、第12回市民検討会における議論の参考とするため、ご回答をお願いします。◆
氏名： _____ (回答用紙)

【質問】任期満了となる本年12月末までに、何を議論してどの段階まで検討を進めるか、ご意見をお聞かせ下さい。
第13回～第15回市民検討会で具体的に検討したい事項や進め方について記入して下さい。(参考:P24 検討事項の例)

記入例

<議論等の内容を列挙した記入例1>

- ○○について議論したい
- △△について、有識者協議会委員からの講演を聞きたい
- 先進的な事例について情報が欲しい

<検討段階についての記入例2>

- 早い時期にパターンに関する議論を終え、より具体的な検討まで行いたい
- 本年12月末の任期満了まで、パターンに関する議論を尽くしておきたい
- 令和4年1月以降も、次期市民検討会委員により、パターンの議論を継続してもらいたい

<各回の議論の組み立てまで踏み込んだ記入例3>

- 第13回：○○について議論したい
- 第14回：有識者協議会委員からの講演を聞いて、△△について議論したい
- 第15回：□□について議論し、施設配置パターンの議論をまとめたい